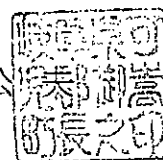


御都士第 2 6 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

御嵩町長 渡 辺 公



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案につきまして、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岐阜県御嵩町

道路は各種社会基盤の中で最も重要な施設であり、人、物、情報が行き交い、都市が栄え、町が栄え、田舎が蘇る、まさしく大動脈の働きがあり、東海環状自動車道や新丸山ダム建設の資材運搬道路の開通が示すように、一本の道路が人や物の流れを劇的に変え、地域の活性化に多大な貢献を果たしています。

大動脈は、一本に繋がってこそその使命が発揮できます。そのために選択と集中が最も重要です。選択と集中もシステム化が大切であり、多くの人々が理解する形での事業システムが重要であると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1地域の現状と抱える課題

様式 ②

岐阜県御嵩町

○現状

当町は古くは中山道の宿場町として栄え、現在は国道21号として東西に大動脈が貫き、2005年に完成した東海環状自動車道が南北に走り、まさしく東西南北が結び合う「十字路タウン」としての「まちづくり」で発展しようとしています。その東海環状自動車道の完成により、それまで販売に苦慮していた「グリーンテクノみたけ」の工業団地が急展開にて完売し、明るい兆しが見えてきています。また国道21号バイパス事業も来年度完成を目指し現在急ピッチで工事が行われ、その大きな効果に期待が膨らんでいます。

今後は、道路の新設も難しくなる中、町道の維持管理の比重が大きくなるかと思われます。特に橋の老朽化は著しく、その診断等を実施しなければなりません。技術指導等の御協力をいただきたい。

○課題

当町の面積は56km²ありますが、その3分の2が山林で最近手入れが行き届かないため荒廃が進み、山林の多目的機能について危惧されています。また農地についても高齢化等により耕作放棄農地の増加が進んできており、さらにまた少子化により人口が少しずつ減少しています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②—2地域の目指すべき将来像

岐阜県御嵩町

当町は、「十字路タウンみたけ」として、「出会い」「交流」の場としての将来のイメージを定め、町の活力の源を「ひと（人）」と「みどり（自然環境）」と「ものづくり（生活の原動力）」に求め、その素材を生かしながら、それぞれ共生しあうまちづくりを進め、町民が生き生きと暮らせる活力と信頼に満ちた町を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

岐阜県御嵩町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	その他
・地域活力の向上	・東海環状自動車道西回り区間早期完成 ・国道21号バイパスの早期完成 ・東海環状自動車道東回り区間の4車線化の早期完成	・大動脈は一本に繋がってこそ効果絶大 ・安全走行の向上による地域交流及び物流等の増加	